

# 城山エコミュージアム通信

2013.6.15 第16号



エコミュージアムとは、エコロジー（生態学）とミュージアム（博物館）の造語で、その地域そのものが、生きた貴重な資料であるという考え方の下に、地域の歴史や文化、自然について学び、地域への愛着を深め、交流を深めていく活動です。

## 龍

## の伝説が残る場所

地域紹介

### 龍籠山伝説と城北の地名



城山エコミュージアムの新企画地域紹介コーナーを新設しました。第1回目は「城北」。

城北から斎藤 正さん、「小松・城北」里山を守る会から元会長の樋口 庄太郎さん、同元副会長の柳川 静徳さんにお集まりいただき、お話を伺いました。

広田から見た龍籠山（しろやまカシャカシャ 溝口 幹秀氏撮影）



城北とは、旧城山町の北側の地区という意味で、雨降、穴川、風間、滝尻の4つの場所を合わせたものです。また、この地域には龍籠山とその地名にまつわる伝説が残っています。

地域に残る伝説には、こう伝えられています。“むかしむかし、龍の夫婦が仲良く暮らしていました。そこに信濃のオスの龍がやってきてオス同士のけんかが始まりました。龍たちが争うとたちまち雲が沸き立ち、風が吹き付け稲妻とともに大雨を降らせました”その大雨が降ったところを「雨降」、滝のように大水が流れたところを「滝尻」、大風が吹き抜けたところを「風間」、龍が住んでいた穴があったところがある川を「穴川」といいます。また、争い結果オスの龍が力尽きて落ちた場所で、現在城山湖の湖底に沈むかつて水田があった場所を「クマデガサ」といいます。

昭和30年代までは谷戸（バンジ谷戸、堂谷戸、ツムジ谷戸など）も含め地域では稲作が盛んにおこなわれていました。城山湖が作られ（昭和40年）里山に薪炭に使われた広葉樹に代わりスギ・ヒノキが植林されるようになったころから、穴川の水量は減り、さらには国の減反政策も追い打ちをかけ現在では水田はわずかになってしまいました。（山雅）



### 今回のトピック

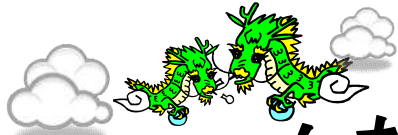
里山風景が残る「小松・城北」地区の魅力を紹介  
大好評連載！城山検定「土の下から出てきた...」  
城山探訪 本沢ダム 自然観察会結果報告  
相模原市城山エコミュージアム運営委員会設立等

### 城山探訪



本沢ダムの紹介

# 城北あんない



**良円山弁財天お祭り**  
 毎年4月8日（最近は8日に近い日曜日）に行われています。以前は歌舞伎が演じられるなど盛大なものでした。



明観寺



塚（明観寺の裏）

セイノカミ  
 （セーノカミ）

現在は「どんと焼き」の名が普及していますが、以前はセイノカミと呼んで小正月に行われていました。木の枝につけた団子は繭玉と呼んでいます。

明観寺の北側にある「塚」で夕方から火が点けられていましたが、山火事の危険があり場所が移動しました。点けた火を持ち帰り風呂を沸かすと病気をしないと伝えられています。無病息災と五穀豊穰を願い、養蚕のカイコに感謝するお祭りでした。生活に密着したものでしたようです。

龍籠山は、二つの峰に大きく分かれているように見えます。

ゆるやかな山が雌龍籠山、金刀比羅宮のある山が雄龍籠山と呼ばれています。

地域によって呼び方が違うようで、逆という説もあります。



郷土料理は、  
**酒まんじゅう**  
 どの家庭でも作られていたそうです。



今後も、地域の興味深い話が聞けるとと思います。お楽しみに！  
 次回は、「小松」を特集します。ぜひご期待ください。

## 地域の活動団体紹介

### 「小松・城北」里山を守る会

後生に誇れる里山づくりを目標に、平成16年4月に会が設立しました。古道の整備、小松川の整備、ホテルの里の整備、地域のまつりへの参加、子どもたち（地元小学校、都市の子どもたち）との交流、都市住民との交流などが行われてきました。特にホテルはこの地域でも一時とても少なくなりましたが、長い時間をかけ復活してきています。活動の実績が認められ、県の里地里山保全等地域選定され活動協定が結ばれました。薪炭が使われなくなり木が大きくなりすぎて、伐採するが困難となってきたことが問題となっています。メンバーの世代交代も必要と考えていて、今若い力を必要としています。活動に興味がある方は、ぜひお問い合わせください。



自然観察会



パンジ谷戸での田植え



# 城山探訪

しろやま見どころ紹介

城山湖 ~ 龍の眠るみずうみ? ~



ほんざわ  
本沢ダム（通称城山湖）は、純粹に発電用のダムとして作られた人造湖であることは誰もが知っています。それでも、湖畔に立つと、その神秘的で静寂な雰囲気浸ってしまいます。それは、湖の底に眠っている龍のせいかも知れません。城北の伝説によると、信濃方面から来た龍が、龍籠山たごやまの龍と戦い、この地に落ち、力尽きたと言われていました。周囲を土砂や岩石で高さ73メートルに積み上げ現在のような湖ができたわけですが、それ以前のこの地は「クマデガサ」と呼ばれ、狭いながらも水田もありました。そう考えると、城山湖はさながら龍の眠る湖のようです。そんなことを思い浮かべながら、静かな湖面の底を見つめてみてください。（榎）



城山湖（本沢ダム）

## 活動レポート

大盛況！ 田んぼで生きもの探し

## 春の里山自然観察会

～谷津田とその周辺の春を探して～



参加した子ども達は生きものに夢中！

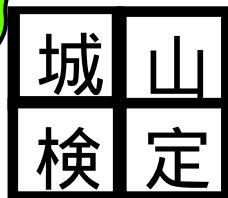
谷戸の春の様子を身体で感じてもらい、普段の生活のなかでも生態系を守ることを意識してほしいと、城山自然の家と近くの田んぼで3月24日自然観察会が開催されました。

当日の参加者は子どもたちとその親御さんたち19名。最初に春の七草を中心に植物を見つけるゲームをして、田んぼの中の日の当たる場所に生えているもの、畦にあるもの、湿った所に生えているものなど特徴を感じていただきました。その後は田んぼとつながっている水辺で生きもの観察をしました。オタマジャクシやドジョウなどのほか、アカハライモリ（ニホンイモリ）まで観察でき、特に、イモリの堂々とした姿に子どもも大人も夢中でした。最後に屋内に戻り、画像を見ながらまとめをしました。採り上げた植物名を覚え子や、オオバコの花殻に興味をもった子どもいて、短い時間でしたが記憶に残る時間を過ごしていただいたと嬉しく感じました。（田）



大人気だったアカハライモリ

知ってナットク！  
しろやま



問題 これは、何でしょう？（下図参照）

ヒントは土の下から出てきたものです。頭にあるものは何でしょう？



『城山風土記5』より



## 検定の解説

「新小倉橋建設に伴う調査」での出土品です。

高さ 11.75 cm

最大幅 7.15 cm

向原西村遺跡出土

（県名称・川尻中村遺跡）

（財）かながわ考古学財団所蔵



城山検定の答え

はちまきどくろ  
答え：鉢巻土偶

（出題者：山口 清）

# Information



## あらたな展開に向けて

～相模原市城山エコミュージアム運営委員会設立～

城山エコミュージアムは、活動 10 周年を契機に更なる飛躍を図るため「会の名称・組織化」が提案され、あらたに「城山エコミュージアム運営委員会」として再出発することとなり、5月の総会において城山エコミュージアム運営委員会組織について確認され、運営委員長には、山口清さん、副委員長には塩谷弘道さんが選出されました。その後、自然、人文の各部会活動計画を確認し、幹事を選出、ツアー実行委員会が立ち上がりました。気持ちも新たに、活動を行ってまいります(宮)



## 10周年記念マップ『城山エコミュージアムの旅』が完成

10年間の活動の集大成として、今までに作成した10コースを1つにまとめたマップを作成しました。コースごとに色分けされ、とても見やすく、携帯しやすいサイズです。興味を持たれた方は、ぜひお問い合わせください。



地域の魅力満載のマップ



## 相模原市立城山エコミュージアム運営委員会設立によせて

### 運営委員長 山口 清

城山町時代に発足した城山エコミュージアムは、10年の活動を経て新たな出発をすることになりました。これまで会を運営していた「城山エコミュージアムを育てる会」が「運営委員会」という月並みですがわかりやすい名称に変わって出発することになりました。

城山エコミュージアムは、城山地域全体を博物館としてとらえて、展示品に相当する町の中の文化・歴史・自然に関わるモノを見て、触れて、学ぶ活動です。

地域にはそこに伝わる文化財や文化遺産があります。一人ひとりの個人にも長い間蓄えた知識や技能、経験があります。それも個人の持つ文化財といえます。

地域を見つめ、地域の文化財を見て、触れて、一人ひとりの持つ文化財(産)を貯え、殖やすことは豊かな暮らしにつながります。城山エコミュージアムが地域や一人ひとりの豊かな暮らしに役立つよう励みたいと思っています。



山口委員長



編集  
後記

昔から城山に住んでいる方から半世紀ほど前のことを伺いましたがとても興味深い内容でした。郷土に対する愛着の強さを感じました。(山雅)



## 一緒に活動しませんか？

城山エコミュージアム運営委員会では、地域の昔の写真、古道、自然、通信づくりなど、それぞれの興味にあわせて活動しています。高校生以上の方ならどなたでも参加可能！まずは見学してみませんか？詳しくは右記まで。ご連絡をお待ちしています。

企画/作成：城山エコミュージアム運営委員会

発行：相模原市教育委員会生涯学習課城山教育班

問い合わせ：TEL：042-783-8184【直通】

FAX：042-782-1290

この通信のバックナンバーは、ホームページ(パソコン)からもダウンロードできます。携帯でも活動内容をご覧いただけます。



## 今後の活動予定

9月以降の予定は、次号掲載します。

### 連携事業

6月20日(木)

「出前・昔の写真館(谷ヶ原)」

会場：谷ヶ原自治会館

協力：谷ヶ原みのり会

7月18日(木)

「出前・昔の写真館(原宿)」

会場：原宿自治会館

協力：原宿梅友会

8月

「出前・昔の写真館(城山)」

会場：城山自治会館

協力：さわやかクラブ城山

「出前・昔の写真館」は、城山地区シニアクラブ連合会の皆様の協力を得て開催しています。

### 事業協力

6月29日(土)

相原公民館事業「ホテル観察会」

日時等は変更になる場合があります。

10月には、城山エコミュージアムツアー開催予定。